

元来人間は、面倒くさいこと、やりたくないことはつい先送りしてしまう傾向があります。しかし、先送りしたところで物事が改善することはあまりなく、特に、よろしくない物事は先送りしていいことなどほぼないのではないかと思います。

市長就任時に、職員の皆さんに申し上げた「仕事をする上での8つの心得」の中でも、「悪い情報は、早急に事実を報告せよ」と悪い知らせはワインと違う。寝かせておけば良くなるというものではない」という項目があります。よろしくない物事ほど抱え込まず、すぐに事実を報告し、できるだけ早く問題解決を図ることが重要です。

先ほどの解説に、『私たちは、常にただ一つの仕事だけをしているわけではありません。複数の仕事に同時並行で取り組むことや、思わぬ仕事が入り込んで、予定よりも多くの仕事を抱えることもあります。しかし、仕事の遅延で市民の生活に影響を与えてはいけません。』とありましたが、今年度は特にこのことを肝に銘じておかなければなりません。というのも、これからの年度後半においては、通常業務に加えて、コロナウイルス感染防止対策やコロナワクチン接種、台風等の災害対応、さらには10月までに予定されている衆議院議員選挙、来年1月予定の市議会議員選挙など業務が輻輳してまいります。ただ、解説にもあった通り、だからと言って市民サービスの低下を招くことがあってはなりません。職員の皆さんには引き続きご苦勞をおかけしますが、職員一丸となって乗り切ってまいります。